



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会社名 日新製糖株式会社
 代表者名 取締役社長 樋口 洋一
 (コード番号 2117 東証第一部)
 問合せ先 取締役常務執行役員 大久保 亮
 (TEL. 03-3668-1246)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり平成 30 年 3 月 31 日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議し、平成 30 年 6 月 27 日開催予定の第 7 回定時株主総会に付議することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 配当（期末配当）の内容

	平成 30 年 3 月期			(参考) 平成 29 年 3 月期	
	期末		第 2 四半期末	期末	第 2 四半期末
	決定額	直近の予想 (平成 30 年 2 月 2 日公表)			
基準日	平成 30 年 3 月 31 日	同左	平成 29 年 9 月 30 日	平成 29 年 3 月 31 日	平成 28 年 9 月 30 日
1 株当たり 配当金	35 円 00 銭	34 円 00 銭	35 円 00 銭	37 円 00 銭	33 円 00 銭
配当金総額	772 百万円	—	772 百万円	816 百万円	728 百万円
効力発生日	平成 30 年 6 月 28 日	—	平成 29 年 12 月 1 日	平成 29 年 6 月 29 日	平成 28 年 12 月 1 日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金	利益剰余金	利益剰余金

(注) 配当金総額は、百万円未満を切捨てて表示しています。

2. 理由

当社は、「資本政策の基本的な方針」において、中長期的に株主資本利益率（ROE）向上を図り、成長投資と株主還元の充実を両立させることとしております。利益配分につきましては、連結配当性向（DPR）60%、または連結株主資本配当率（DOE）3%のいずれか大きい額を基準に配当を行います。平成 30 年 3 月期の期末配当につきましては、上記配当方針を本決算数値に適用し算定した金額（1 円未満切上げ）※から、実施済みの中間配当額を差し引いて算定した結果、1 株当たり 35 円を期末配当額とさせていただきます。

※ [1 株当たり年間配当額の算定式]

連結配当性向（DPR）60%基準

期末 1 株当たり連結当期純利益 84.90 円の 60% = 51 円（1 円未満切上げ）

連結株主資本配当率（DOE）3%基準

期末 1 株当たり連結自己資本 2,302.13 円の 3% = 70 円（1 円未満切上げ）

連結株主資本配当率（DOE）3%基準 70 円の方が大きいため、70 円を 1 株当たり年間配当額といたします。

(ご参考) 年間配当の内訳

	1株当たり配当金 (円)		
	第2四半期末	期 末	合 計
当期実績 (平成30年3月期)	35円00銭	35円00銭	70円00銭
前期実績 (平成29年3月期)	33円00銭	37円00銭	70円00銭

以 上